

令和1年9月25日
September 25, 2019

大学院学生各位
To All Graduate Students

令和元年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2018.4-2019.3

題目：第4回 名大医薬系3部局交流シンポジウム
～岐阜薬科大学・岐阜大学 G-Chain・ラクオリア創薬合同シン
ポジウム～ The 4th Nagoya Univ Pharma Sci/Med/RIEM
Joint Symposium

日時：令和元年10月31日(木) 10時00分-17時30分

Time and Date: Oct 31 (Thu.), 2019 10:00~17:30

場所：野依記念学術交流館（東山キャンパス）

Room: The Noyori Memorial Conference Hall (Higashiyama Campus)

言語：日本語 Language: Japanese

9:30- 受付・ポスター貼付

10:05-10:35 医学系研究科分子生物学 坂元一真 先生 「損傷神経特異的な軸索腫大構造の形成機構の解明」

10:35-11:05 環境医学研究所 内分泌代謝分野 林良敬 先生 「グルタミノスタチン:アミノ酸代謝制御ホルモンとしてのグルカゴン」

11:05-11:35 創薬科学研究科創薬有機化学講座天然物化学分野 西山義剛 先生 「穏和な条件で選択的に切断可能な化学リンカーの開発」

11:35-13:15 (1時間30分) 昼食(各自)、ポスター閲覧

13:15-13:45 ラクオリア創薬株式会社 開発戦略部 安藤明美 先生

「Tegoprazan (RQ-00000004): カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(P-CAB) ~アイデアから薬になるまで~」

13:45-14:15 岐阜薬科大学薬効解析学研究室 嶋澤雅光 先生 「緑内障の病態解明と治療薬創成への挑戦」

14:15-14:45 岐阜大学 応用生物科学部共同獣医学科臨床獣医学講座応用生物科学部附属動物病院病院長 森崇 先生 「動物病院を有効に利用する」

14:45-16:15 (1時間30分) 休憩、ポスター閲覧

16:20-17:20 特別講演 名古屋市立大学薬学部 松永民秀先生 「創薬研究支援材料として期待されるヒト iPS 細胞」 17:20 閉会挨拶

午前・午後それぞれ基盤医学特論1回分になります。それぞれ午前・午後のプログラム全体を通して参加して頂く必要があります。

※関係専門分野・講座等の連絡担当者：腫瘍病理学 榎本 篤（内線 2093）

Contact: Department of Tumor Pathology (Ext.2093)

事前の申込みは不要です。No Registration Required.

医学部学務課大学院係
Student Affairs Division, Graduate School of Medicine